

整理番号	15-13	事務事業名	北広島市生活学校補助事業		作成部署	市民環境部 市民生活課		電話	内線716
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	滝本 明	課長職名	武田 隆	作成日	平成17年6月	
事務事業開始年度	S54年度	根拠法令等	北広島市補助金等交付規則						
〃 終了予定年度									
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	環境問題が問われている中、省資源、省エネルギーなど実践活動を通じ市民の意識高揚に大きな効果が期待できるとともに、コミュニティ活動の核となる団体として組織を支えていくことを目的とする。								

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	いきいきとした交流と連携のまち (第3章)	
	節	コミュニティ (第1節)	
	施策	市民活動の促進 (第1施策)	
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	生活学校	
	意図 (何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	限りある資源を有効に活用するため、生活の中で省資源化・省エネルギー化を実践活動し、環境浄化を広く市民にPRするために、事業者とも連携し活動を行う。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	省資源、省エネルギー、資源回収を実施するために、年2回のフリーマーケット、対話集会等の開催、各種研修会等への参加。
		17年度	同上

## 2 実施(ドウ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	135	100	100	100
	合計	135	100	100	100
人件費 (概算)	人数(年間)	0.00	0.00	0.00	0.00
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	0	0	0	0
総事業費 +		135	100	100	100

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	フリーマーケットinきたひろ	2回	2回	2回	2回
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	フリーマーケットinきたひろ (エルフィンパークで開催)	参加者 410人	参加者 410人	参加者 410人	
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)					

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	コミュニティ活動、資源を大切にしている運動は、地道な努力が必要であるが、当初の目的が市民に浸透されてきており会としての事業の見直し等を検討中である。
---------------------------------	--

#### 【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市内で30年以上も自主的活動を続けている団体であり、現在の方法が妥当と考える。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	省資源化・省エネルギー化を実践し、環境浄化を広く市民にPRするために事業者とも連携し活動をおこなっている生活学校に対する補助は妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	コミュニティ活動、資源を大切にしている運動は、地道な努力が必要であるため現在の手段は妥当である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	安全で住みよいまちづくりを目指し、省資源・省エネルギー・資源回収など資源を大切にしている運動を幅広く展開し、概ね成果は上がっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	改善の余地は少ない。	

#### 【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

### 4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	団体の活動目的である、省資源・省エネルギー、資源回収など資源を大切にしている運動は実践活動を通じ市民の意識高揚に大きな成果を上げている。また、団体の活動基盤も確立されており事業を継続していくことが重要であるため、現状維持と考える。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	補助金使途の透明化を図るため、運営費補助から事業費補助への切り替えを進めること。

## 付 表

## 補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	15-13
------	-------

## 【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市生活学校補助事業		
交付先の名称及び代表者名	北広島市生活学校 運営委員長 永田美代子	設立年	昭和54年
構成員(団体)数	37人 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	身近なテーマを取上げ安全で住みよいまちづくりを目指し、省資源・省エネルギー・資源回収など資源を大切にす運動を幅広く展開している。		
交付先団体等の活動内容	(1)リサイクルセンター施設見学・ゴミ焼却施設見学 (2)フリーマーケットinきたひろ(春と秋2回の開催) (3)高齢者おたのしみ講座の開催 (4)ふれあい温泉事業		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

## 【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	135	100	100	
	社会福祉協議会助成金	50	78	50	
	会費	74	70	70	
	諸収入	228	193	150	
	負担金	315	337	500	
	繰越金	2	4	6	
	<b>収 入 合 計(B)</b>	<b>804</b>	<b>782</b>	<b>876</b>	
支 出	研修・活動費	277	313	780	
	旅費	9	8	5	
	負担金	10	10	10	
	会議費	20	15	15	
	役務費	7	4	5	
	事務費	10	5	6	
	その他	467	421	55	
<b>支 出 合 計(C)</b>	<b>800</b>	<b>776</b>	<b>876</b>		
繰越金	<b>収入(B) - 支出(C)</b>	4	6	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		17 %	13 %	11 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		すべての経費	すべての経費	すべての経費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		800	776	876	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		17 %	13 %	11 %	
補助・交付金の算出根拠	定額補助				